

革新する技術、創造する未来 ~夢へ翔る 熊本高専~



題字：宮川英明 校長

# 熊本高専だより

第5号

平成 23 年 3 月

今号のテーマ 「卒業」!!



## ▲八代キャンパス卒業生

機械電機工学科  
情報電子工学科  
土木建築工学科  
生物工学科  
専攻科

## ◀熊本キャンパス卒業生

情報通信工学科  
電子工学科  
電子制御工学科  
情報工学科  
専攻科

## CONTENTS

- |   |  |  |
|---|--|--|
| ◆ 特集「卒業！」 <ul style="list-style-type: none"><li>・卒業によせて（副校長・後援会） ..... 1</li><li>・卒業生・修了生から ..... 3・5・7</li><li>・卒業生・修了生に贈る言葉 ..... 4・6・8</li></ul> | ◆ 退任教職員から <ul style="list-style-type: none"><li>・退職に当たって思うこと ほか ..... 13</li></ul>   | ◆ 研究紹介 <ul style="list-style-type: none"><li>・私の研究ほか ..... 19</li></ul>      |
| ◆ 進路速報 <ul style="list-style-type: none"><li>・進路状況のまとめ ..... 9</li></ul>  | ◆ 学生会・寮生会から <ul style="list-style-type: none"><li>・新学生会長あいさつ等 ..... 15</li></ul>     | ◆ 諸だより <ul style="list-style-type: none"><li>・学生相談室・保健室より ..... 21</li></ul> |
|   | ◆ キャンパス状況 <ul style="list-style-type: none"><li>・半導体材料デバイスフォーラムほか ..... 17</li></ul> |  |

 素敵な花を咲かせよう

副校長 齊藤 郁雄

5年生の皆さん、専攻科2年生の皆さん卒業おめでとうございます。入学からこれまでの間、様々な試練を乗り越えて卒業を迎えたことに、心から敬意を表します。高専を卒業する皆さんは、技術者として必要な能力をしっかりと磨いてきました。自信を持って頑張ってください。

さて、卒業に向けてどういう文章を書こうか悩んだのですが、思い切って詩を書いてみることにしました。下手な詩ですが少しでも思いが伝わればと思います。

皆さんの社会でのご活躍をお祈りします。



5年前、君は、まだ細くてちっちゃな苗木だった。  
僕たちは、大きめの鉢に植え、さっそく当番を決めた。  
水係は、気温と湿度を気にしながら水をかけた。  
肥料係は、肥料のやり過ぎをいつも気にした。  
剪定係は、風通しや日当たりを考えて、時には思い切って枝を摘んだ。  
みんな、君が出すかもしれない声に聞き耳を立てた。  
たまには、君の世話の仕方をめぐって喧嘩もした。  
太陽と雲はいつも君の成長を静かに見守った。  
やがて君は鉢から根を突き出すほどに成長し、枝先に小さな蕾をつけた。  
その蕾を春風がつつき始めた今、君は冷たさの残る空気を恐る恐る吸い込もうとしている。  
その蕾を春の日差しが撫で始めた今、君は太陽の向きを確かめようとしている。  
最初の花を咲かすには、まだ少し時間がかかるかもしれない。  
たとえ花を咲かせても、花びらは小さいかもしれない。  
せっかく咲いた花びらも、雨や風ですぐ散ってしまうかもしれない。  
でも、心配はいらない。  
夏の間に、太陽の光と養分に満ちた水をしっかりと吸収しなさい。  
秋の間に、山の静けさを聴き、森の臭いを嗅ぎなさい。  
冬の間に、風の冷たさと雪の重さに耐えなさい。  
そうすれば、再び訪れる春にはもっと素敵な花が咲くに違いない。  
僕たちには、やがて立派な木に育った君の姿が見える。



自転車小屋横の桜の蕾  
(2011年2月4日撮影)

## 雪どけ

熊本キャンパス奨学後援会 会長 北島 憲二

熊本高専卒業おめでとう！  
学校の試験はすべて終わつたかもしませんが、ここで高専最後の問題です。

『雪が解けたらどうなるでしょう？』

普通に考えれば「それは水

でしょう」となるのでしょうか、高専の諸君なら「いやそんな簡単なことではないだろうな、仮にマイナス5℃の雪100gが融雪すると、そこで移動する熱エネルギーは？？？でこれを社会に活用するとなると貯雪冷房なんかができるのかな？そのときの課題は、エネルギーのロスを最小に？」なんてこと考えるのでしょうかか・・・。

今年は北日本で大雪だったのですが、長い冬を雪で閉ざされるこの地方の人と同じことを聞くと、ほとんどの人が

「そりや雪が解けたら、春が来るでしょう」と答えるそうです。

ところ変われば、人の考え方も、生活習慣も、水も、食事も、言葉も変わります。

5年あるいは7年間を熊本高専で過ごした皆さんも、これから日本中、世界中に旅立たれることと思います。熊本では、高専では当然と思っていたことが「なぜ？どうして？」と思うことが多いかもしれません。でもどこに行っても熊本高専に在学、卒業したことを誇りにもち、停滞した日本の社会、経済、先進技術に目を覚まさせる技術者となって活躍されることを期待します。

雪解けの春を迎えた皆さまの飛躍を祈念して

**卒業バンザイ！**

最後にこれまで卒業生を御指導いただいた、担任の先生、校長先生をはじめ学校関係の方々に深謝申し上げます。また後援会活動にご協力いただいた保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。



## 出会えた友、学び舎、恩師を誇りにして

八代キャンパス後援会 副会長 深田 啓子

「えっ？席が無い！30分も前に来たのにもう？！」入学説明会の日。親子でワクワクしながら行った初めての集まり。体育館に入るや否や驚きでした。無駄話一つ聞こえず、設けられた席のほとんどが埋め尽くされていたのです。その意識の高さ。感動すると同時に恥じる思いで空いた席に着座することを覚えています。そして、溢れんばかりの教育愛を感じさせる校長先生のお話。入学前にして、この学校でよかった間違いなかったと確信した日でした。



末娘が高専に入学し、何もかもが新鮮で、学校での出来事を聞くのがいつも楽しみでした。気の合わない人とどうしたら近づけるか心痛めているという友の話に、皆で心寄せようとする姿に大切な事を教わりました。夜遅くまでバイトをしながら頑張っている友もいました。授業参観で見た黒板は、何のことやらさっぱり分からず先生の話も素通り。難しい学問を理解していく子どもたちの頼もしさは尊敬に値するものでした。赤点挽回に、夜中まで携帯、メールのやりとりをして一致団結？で再試に臨む、苦くて微笑ましい姿もありました。

キリッとした理事会や和んだ交流会では、私のトンチンカンな質問や意見にも温かくまっすぐに応えてくださる先生方がいらっしゃいました。

タンスの中の校章の付いた制服は、5年間の思い出のいっぱい詰まった、心育ててくれた高専時代の証です。出会った素晴らしい仲間と、培った力と、教授してくださった先生方を誇りにして、さあ、今、力強く踏み出していってほしい。夢を実現させるために。人の為に成す喜びを知るために。

時々、休みたくなったら仲間と先生と語らつてみるといい。きっとまた、前を向いて歩いていけるパワーが蘇るに違いないから。いつでも、どこにいても応援し続ける家族がいることも忘れないでいてほしい。

**卒業、おめでとう！**

# 卒業生から（熊本キャンパス）

進学・就職・卒業研究 そして この5年間

## ● やればできる！

情報通信工学科 5年

中島 尚子

こんにちは。私は4月より、首都大学システムデザイン学部、経営システムデザイン学科3年次に編入します。電波高専時代も含め、首都大に編入するのは

初めてのようで、受けるときには大きな不安もありました。進学することを決め勉強を始めたのは4年生のときです。学校の勉強はあまり好きではないので、早く働きたいと初めは思っていましたが、長い目で自分の将来を見たときに、やはり進学した方が良いのではと思いました。また、自分は何をしたいのか考えた結果、「人と関わる仕事がしたい」と思いました。そこで、工学というより、少し方向性の違う専門を学べる大学を目指しました。受験勉強を始めるときは、とりあえず情報収集から、大学に資料を送ってもらったり、学生課にある過去問をコピーしたり、先輩に話を聞いたり…今思うと自分で行動力があったなと思います。実際に自分で勉強を始めると、モチベーションを保つのが難しく、妥協してしまう自分に自己嫌悪の繰り返しでした。しかし、分からぬ問題を先生に持っていく、話をして、また頑張ろうと思えたりもしました。最終的に合格することができ、支えてくれた先生方に感謝しています。可能性は無限大です。固定概念に囚われず、自分の行きたい道に向かって突き進みましょう。私も、編入試験で培った苦しいことに立ち向かう姿勢を忘れずに、東京に行っても頑張ります！



## ● 高専生活を振り返って

電子工学科 5年

長田 大和

私は、5年間マイペースな性格からか、いつもいろんな人に助けてもらいました。悪ふざけばかり

した寮生や、怒られまくった寮の先輩、毎日必死になって頑張ったハンド部の仲間や後輩、共に楽しく過ごしたクラスメイトや学校の先輩、支えられまくった学生会のみんな、先生方などに、ホントに迷惑ばかりかけてしまいました。でも皆と過ごした5年間は、とても充実していて自分自身大きくなった感じています。部活、学生会、寮役員、電波祭実行委員などいろんなものに参加し、多くの人とふれ合うことができました。学校外の学生や学生課の皆さんとも知り合うことができました。自由な校風の高専でしたが、いろんなことに参加し、いろんな人に迷惑かけ（笑）、いろんなことを頑張りました。本当に楽しい学生生活でした（勉強以外）！



## ● 高専での5年間を振り返って

電子制御工学科 5年

前田 能孝

私は5年間電子制御工学科に所属し、様々なことを学ぶことができました。例えば、シンガポールでの海外研修では現地の学生との交流を通して、英語でのコミュニケーション能力や国際的な視野を養うことができました。また、卒業研究では授業で学んだことを実践し、自分で考え、問題を解決する力を身につけることができました。指導してくださった先生方に本当に感謝しています。

また、熊本高専での日々は毎日が充実しており、時には大変な時もありました。しかし、同じ環境に身をおく仲間と共に、全ての課題を達成することができました。もし仲間の存在がなかったら、私は卒業までたどり着くことができなかっただかもしれません。5年間を共に過ごしてきた仲間は、私が高専で得た大きな財産です。

私は高専で、困難な状況でも目的を達成することができる力を身につけることができました。卒業後も高専で学んだことを活かし、頑張って行きたいと思います。

## ● 就職の道と向き合った高専生活

情報工学科 5年

西山 健太

私は入学当初から就職希望で、「5年間で自分を磨き上げ、社会で通用する人材になる」と目標を立てました。そんな私が就職先のことについて考えるようになったのは、3年時に本校で行われた企業説明会でした。一社だけ特に人気があり、企業説明されていた方の魅力あるプレゼンに心を奪われたのがきっかけです。そして4年時にはその企業のインターンシップに参加し、「働く」ということについて真剣に向かい合う機会に恵まれ、報告会での代表発表もさせて頂きました。こうして採用担当の方や社員の方とも繋がりを持ち、就職担当の先生のご尽力のおかげで今回無事に内定を頂くことが出来、2年来的片思いを成就することが出来ました。私の場合は早い時期から将来について考えていたので、課題や試験のラッシュ時にも「自分のためだから」と思いポジティブに奮起し乗り越えることが出来たと思います。後輩のみなさんも是非、先を見据えて悔いのない電波ライフを。



# 卒業生・修了生に贈る言葉

卒業・修了によせて（一言メッセージ）

## ● 時間と身体を大切に

情報通信工学科 5年担任  
永田 和生

みなさん卒業、修了、誠に  
おめでとうございます。みな  
さん様々な思いを胸に、卒業  
の日を迎えたことだと思います。

私は平成18年に本校に着任  
して、今年度は初めて5年生の担任をさせて  
いただきました。今回卒業する5年生は平成18年  
入学。つまり、私と同じ5年間を本校で過ご  
たということになります。

5年間で、みなさんはどれだけのことを学び、  
身に付けたでしょうか。おそらく、計り知れ  
ないほどのものだと思います。その分、長くも感  
じられた5年間だったのではないかでしょうか。

日本人の平均寿命で考えると、みなさんは生  
まれてから今までの年月の3倍、時間が残され  
ています。これを長いと考えますか？短いと考  
えますか？

いずれにせよ、人生をより充実したものにす  
るためにには、健康が第一だと思います。ぜひ身  
体を大事にして、楽しく面白い人生を歩んで  
行ってほしいと思います。



## ● 熊本高専卒の 誇りを胸に

電子工学科 5年担任  
寺田 晋也

卒業生・修了生の皆様、ご  
卒業おめでとうございます。  
電子工学科5年生の皆様は、  
2年生のとき、私が熊本高専に赴任してきて初めて  
の授業を受け、また、4・5年生のときには担任  
として、受け持たせていただきました。この間、  
研修旅行、クラスマッチ、電波祭、就職・進学、  
卒業研究など厳しくも充実した様々な行事が行わ  
れ、あっという間でした。特に進路を決める時期  
には、将来に向けての不安や期待が入り混ざって  
いろいろと大変でした。しかし、自ら将来への方  
向性を見つけ、不景気と言われている中、見事に  
就職・進学先を決めることができました。このこ  
とは、担任として心強くもあり頼もしく思います。  
これから、新たなフィールドに進み、いろいろな人  
や経験に出会うことでしょう。そのとき、5年  
間にもわたる“熊本高等専門学校”を無事に卒業  
できることへの誇りを胸に、頑張ってください。



## ● 終わりは はじまり

電子制御工学科 5年担任  
柴里 弘毅

卒業生・修了生の皆さん、  
ご卒業・ご修了おめでとうご  
ざいます。

担任として、電子制御工学  
科5年生の皆さん的人生に関わることができた  
ことを大変うれしく思います。3年前、学科ご  
とのクラス編成に変わり、期待しつつも戸惑っ  
ている様子が窺えた皆さんでしたが、工場見学、  
インターンシップ、研修旅行、キャリアセミナー、  
テーマセクポリテクニックとの学生交流、卒業研  
究、数え上げればきりがありませんが、数多くの  
経験を通してたくましく成長されました。

卒業を迎え、様々な思いが胸に去来してい  
ることと思います。少し寂しくもありますが、「終  
わりは はじまり」です。胸をわくわくさせて  
新しい第一歩を踏み出してください。

皆さんの人生の門出をお祝いいたします。



## ● 培われた実力と 優しさをもって

情報工学科 5年担任  
神崎 雄一郎

卒業おめでとう！

皆さんと初めて顔を合わせたのは、2006年の春、1年生  
の教室でした。桜の香りが残  
る中、硬い表情で静かに並んでいた皆さんと、  
ひそかにドキドキしていた新任教員の私自身の  
ことを思い出します。明るくて好奇心の強い皆  
さんとともに過ごせた5年間は、とても楽しい  
ものでした。数多くの授業のほか、クラブ活動、  
シンガポールへの研修旅行、インターンシップ、  
卒業研究など、盛りだくさんの高専生活だった  
と思いますが、努力した分、実力が付いている  
はずです。ときには失敗したこと也有ったかも  
しませんが、それも優しさや強さを培う良い  
経験になると思います。

これからもご両親をはじめ、身近な人たちを  
大切にすることを忘れずに、自信をもって、焦  
らず歩んで行ってください。新しい場での皆さ  
んの活躍を心よりお祈りしています。



# 卒業生から（八代キャンパス）

進学・就職・卒業研究 そして この5年間

## ● 私の5年間

機械電気工学科 5年

橋本 泰成

私がこの学校に入学してから、本当にあつという間の5年間が過ぎ去りました。振り返ってみると、この5年間で色々な人に出会い、そして大切な思い出が沢山できました。クラスメイトとテスト期間中に必死に勉強したこと、友人たちと笑い合ったこと、球技大会で一致団結したこと、部活の大会で悔し涙を飲んだことなど、挙げていくと沢山あります。ただ、どの思い出も私にとって掛け替えのない、一生大切なものになることは間違いません。

在校生の皆さん、学校生活は楽しいですか？それとも辛いですか？今は個人個人で違った考え方を持っていると思います。しかし、せっかくの5年間、どうせなら楽しく過ごしましょう。そのためにも沢山の人と出会い、その中で色々な思い出をこれから一杯作って、学校生活を楽しんで下さい。

最後に、5年間指導して下さいました先生方、本当にありがとうございました。



## ● 5年間を振り返って 土木建築工学科 5年 黒木 千紘

高専に入学した頃は女子の数も少なく、勉強も難しくなり高専生活がうまくいかどうか不安でいっぱいでした。

しかし、だんだん慣れていく5年間でたくさんの思い出をつくる事ができました。1番の思い出は工場見学です。いろいろな場所を見学したり、1週間もクラスの人たちと一緒にいたのしかったです。

5年間辛いことも多かったけど頑張ってきて本当によかったです。私がここまでやってこれたのはお母さんのおかげです。ありがとうございました！

4月からは大学生になりますが、精一杯勉強し、将来は藤野先生みたいな先生になれるといいなと思っています。藤野先生、2年間うるさい5Cの担任お疲れ様でした。それとありがとうございました。

最後に、在校生のみなさん高専生活の1日1日を大切に過ごしてください。5年間はあつという間に過ぎていきます。

## ● 自分を知る、伝える

情報電子工学科 5年

鶴山 美帆

就職活動で感じたことを書きます。これから就活される方のお役に立てれば幸いです。就活では過去を振り返ることが重要です。どこに入社したいかわからなくても、興味のある分野を挙げていくと必ずマッチする企業が見つかります。自分の長所や適性を把握するのは大変ですが、沢山の人に相談してみると新たな発見があります。長所が活かされた体験・困難を克服するための工夫などでもアピールポイントになります。それと、面接時に印象が良いに越したことはありません。普段より大きな声や笑顔を心がけたり、企業の特長を褒めたりしてみましょう。しかしどんなに努力してもうまくいかない時は、その時に運がなかっただけ、「こんな自分を採用してくれる所なんてない」と思う必要はありません。世の中には数えきれないほどの企業があり、実際に面接時に出会った大学生は何十社も試験を受けたようです。高専生は恵まれていると思って前向きに取り組んでください。



## ● 五年間を振り返って

生物工学科 5年

古里 寿美男

一年生の頃は五年間をとても長いように考えていましたが、あつという間に卒業を迎えることになりました。



振り返ってみると、入学してからの五年間で本当に多くの事を学びました。それはもちろん、学校の授業から学んだ事もありますが、それ以上に友人や先輩との関わり合いのなかで得るもののが大きかったように思えます。時には羽目を外しすぎてお叱りを受けることもありましたが、今となってはそれもいい思い出ですし、いい勉強をしたと思っています。ですから在校生の皆さんには、十代の内に思いっきり遊ぶことをお勧めします。

そう言う私はもう二十歳となり、これからは大人としての自覚を持って行動しなければなりません。しかし、五年生では甘えを捨て切れず、課題研究等の取り組みが中途半端になってしましました。私は専攻科に進学しますが、これからは甘えを捨てて研究や学業に取り組んでいきたいと思っています。

# 卒業生・修了生に贈る言葉

卒業・修了によせて（一言メッセージ）

## ● 祝・卒業

機械電気工学科 5年担任  
田中 祐一

5年機械電気工学科卒業生の諸君、ご卒業おめでとうございます。2年間という短い間でしたが、担任として君たちを社会に送り出すことができ、大変嬉しい思いでいます。君たちと過ごしたこの2年間はとても楽しい2年間でした。これから社会に羽ばたいていく君たちの人生に、少しでも関わりが持てたことを、とても誇らしく思っています。

現在、日本経済の先行きにはとても不透明感が漂っています。この不透明感を払拭するには、技術立国の立役者である君たちエンジニアが頑張らなければなりません。君たちは、若く、バイタリティーがあり、そして何より、エンジニアとしての基礎知識と素養を合わせ持っています。他人の目を気にせず、無我夢中で仕事に取り組んでください。そうすれば、必ずや社会に貢献できる何か、そして自分の糧となる何かを掴むことができるはずです。皆さんの活躍に期待しています。



## ● 知恵を増やそう

情報電子工学科 5年担任  
湯治 準一郎

卒業おめでとうございます。心配された進路も全員決定し、ほっとしています。また、クラスマッチで4度の総合優勝に輝いたクラスの最後の担任ができて、大変光栄です。

さて、みなさんは5年もの歳月をかけて様々な「知識」と「知恵」を得たことでしょう。一般教養、専門技術、寮生活、課外活動、高専祭やイベント運営など、入学時には想像もしていなかった各種の体験を通して、確実に「知識」が豊富になり、それを活用して問題を処理していく能力としての「知恵」も身に付いているはずです。「知識」は勉強すれば得られますが、「知恵」は現場で問題に直面し、それを解決していく体験でしか身に付かないものです。

4月からの新しい環境では、高専生活で培った知識や知恵を糧として、その道のプロとなるために更にその数を増やしていってください（悪知恵だけは増やさないように！）。慣れ親しんだ教科書やノートも、どこかで役に立つときが来るかもしれません。



## ● 卒業おめでとう

土木建築工学科 5年担任  
藤野 和徳

進路を決めるのは本当に厳しいことだと感じていた。それでも8月過ぎても数は少ないが求人があった。

今、社会が望んでいるのは、行動がとれることだ。知だけでは暗しである。これを君たちの先輩が多く分野で実践してくれている。だから、10月過ぎても推薦をとの声があった。そして、先輩が自ら同級生に声をかけ、就職先を当ってくれたこと也有った。数の論理ではなく、少人数教育による結びつきの確かさがあった。高専の評価が高い証だ。

1月半ばで全員の進路が決まった。今、君たちの頑張りと先輩に感謝です。

さて、建設業のこれからはどうなる。答えはこれまで学んだ知識と行動力とちょっと常識を傍らに置くことが必要だと思う。自慢できる高専教育の多くの良さが君たちにあるはずだ。

私たちは時の中に止まれない。苦労した思い出も楽しい思い出も乗り越え、歩んでいくものなんだ。新しい幸せが待っているよ。卒業おめでとう。



## ● 卒業を祝って

生物工学科 5年担任 金田 照夫

皆さん、卒業・修了おめでとう。本科と専攻科の担任を掛け持ちして、あまり担任らしいことは出来ませんでしたが、卒業式の日には、八代キャンパスを巣立っていく皆さんの笑顔を楽しみにしています。

皆さんと接したこの2年間、色々なことがありました。就職・進学活動では、受験結果が分かる度に一喜一憂したこともあります。それらを振り返ってみると、私にとっては綱渡りの連続で、今思うと悔やむことも数多くありました。

本科生と専攻科生、それぞれ進路選択には方法や価値観の違いがあったと思います。全員が必ずしも自分の思うような結果を得られたとは思いませんが、皆さんは否応なく、これから新しい時間の中に踏み込んで行くことになります。足早に過ぎ去っていく時の流れに翻弄されることもあるかも知れませんが、折に触れて八代キャンパスで過ごした毎日を振り返りながら、これから的人生を楽しんで下さい。

# 専攻科修了生・留学生から

進学・就職・卒業研究 そして 高専での生活

## ● タイでの海外経験

専攻科 電子情報システム  
工学専攻（熊本C）

平川 晋也

この7年間で様々な思い出がありますが、その中でも国際学会で訪れたタイのことが印象に残っています。タイの街の雰囲気は、私の唯一の海外経験であった韓国とは比較にならないほど独特で、新鮮で、別世界というものが相応しいものでした。また、この旅行で私の英語能力の不十分さを痛感しました。口頭発表は何とかこなしたものの、食事会で話し掛けてくれたタイの大学生の英語は、あまり聞き取れず、歯痒い思いをしました。

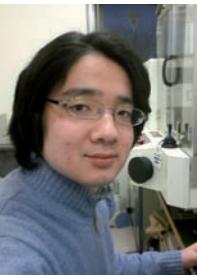
なお、当時のタイは政治的内紛が終息してからあまり時間がたっていませんでした。バンコクには爆発されたビルもそのまま残っていました。それを目の当たりにしたときはTVの映像とは比較できない衝撃を受けました。

つい先日、偶然にもAMラジオからタイの放送が聞こえたことがあります。ノイズ混じりで流れてきた、民族音楽をアレンジしたような不思議な音楽は、タイの独特的な空気を少しだけ思い出させてくれました。苦労したこと多かったです、今では刺激のあるよい経験だったと思っています。

## ● 5年間の高専生活

留学生（熊本C）  
ヤナ・ムリヤナ

私は2005年に本校情報工学科の3年次に編入学し、2009年には専攻科に進みました。情報工学科における初めの2年間は、先生から与えられたプログラム課題やレポート課題などに多くの時間を費やしました。しかし、5年次の卒業研究では、指導教員のもとで研究を計画し、自主的に学習したり実験したりすることが多かったです。特に数値計算分野に興味を持ち、高次特異値分解に関する研究に取り組みました。専攻科でも同じテーマの研究を継ぎました。専攻科は本科と比べて座学の授業数が少ないため、多くの時間を特別研究に割き、研究に専念することができました。長期企業インターンシップにも参加して、企業活動の現場での体験によりコミュニケーション力を向上させることができました。専攻科修了後は奈良先端科学技術大学院大学物質創生科学研究科に進む予定です。これまでお世話いただいた皆様に感謝いたします。



## ● 7年目の真実

専攻科 環境建設工学専攻  
(八代C)

松浦 宏昭

2004年4月、その時から僕の高専生活は始まった。あのT型の定規は何に使うの？そんな疑問を抱きつつも月日は過ぎて、早いもので7年である。1年生のときに感じた明らかな年齢差。そんな僕もついに最高学年に達し、今の1年生から見れば先輩と言う枠を超えた存在なのかもしれない。7年間を通して何か変わったのだろうか。同じ教室で7年間もの間、いやと言うほど顔を見合ってきたI森、U臨、T宮、F原の面々を見ても彼らは今も昔も変わっていない。ゆえに僕もそうだろう。ただ、根本的な部分は変わらなくても、生徒や先生方を初め多くの人々に会えたことで、そこに息づく多様な価値観や考え方につれていた。この高専生活で得た甘くも苦い経験は10年後、20年後にボディーブローのように利いてくるだろう。ありがとうございます。かけがいのない7年間の青春の日々を支えてくれた同胞たち、先生方、そして家族のみんな。この恩はいつか返します。



## ● 3年間ありがとう

留学生（八代C）  
バヤルサイハン オチ



こんにちは、私はモンゴルから八代キャンパスに留学した三人目の学生です。まずは、3年間で自分が体験したことについて簡単に語ろうと思います。今から思うと、この3年間は、ある意味で早く、ある意味で長く感じられました。もちろん、勉強においても、生活においてもわからないところが多くあったのですが、いつも周りが温かく支えてくれたおかげで、心強く、無事に卒業することができました。また、日本の独特的な文化、社会についても、ある程度深く知ることが出来たと思います。一方、留学したからこそわかる、もう一人の自分を見つけることができました。社会のほんの一部に過ぎなかった自分の無力さ、無知さ、性格の欠点などがわかりました。この後も、できれば、この貴重な体験をいかして、自分を作り上げながら、もっと強く、もっと柔軟性のある社会人になっていきたいと思っています。3年間お世話になった皆様、本当に感謝しています。

# 卒業生・修了生に贈る言葉

卒業・修了によせて（一言メッセージ）

## ● 技術力を信じて世界へ

専攻長（熊本C）  
三好 正純

専攻科の修了おめでとうございます。今年度は特に就職難がいわれる中、皆さんのはほぼ100%が希望の進路を決めることができたことは、大変うれしく思っています。これも先輩の卒業生諸氏が社会で活躍されているおかげと感謝しています。

高専専攻科では研究を通じて実践的技術を身につける教育を特徴としています。皆さんはこの2年間で、インターンシップや研究活動など多くの経験を積まれたことだと思います。研究で実験を計画・実施し、結果を論文にまとめ、成果を学会や高専フォーラムで発表するなど、活動を通して身につけられた基本的スキルは今後の技術者としての活動に大いに役立つことでしょう。

社会はグローバル化が急速に進んでいます。インターネットによって情報には国境がなくなり、企業は海外展開が拡大しています。皆さんには技術力があります。自分の力を信じて大いに羽ばたいてください。応援しています。



## ● 現代GP 日奈久の思い出

専攻科担任（八代C）  
磯田 節子



今年の専攻科C系の卒業生は全員就職、無事内定を得た。少し君たちのことを振り返ってみたい。君たちが4年生の10月から現代GP「日奈久温泉街再生と共同したエンジニア教育」が始まった。社会を教室として、地域の方々と共同で解決策を提案し、実現を目指す。建築コースでは建築設計演習「農業倉庫の再生」、土木系では土木設計演習「人が集まり、人が住む日奈久の街づくり」に取組んだ。前者では学生3名、地域の方2名の混合班で再生計画を提案。各班が頑張って1/50のキレイな模型を造ってくれたことを思い出す。農業倉庫は再生されることが決まった。後者では、ランドスケープデザイナーの川越さんが加わった。4年、5年、専攻科1年と社会を教室とした取組を行った。地域に暮らす人々の生活や歴史の大切さ、専門家としての自覚を体得できたのではと思う。君たちの可能性は無限、健闘を祈る！

## ● 素晴らしいエンジニア

同窓会会长（熊本C）  
森川 卓亮



熊本高専を卒業される卒業生・修了生の皆さん、「ご卒業」おめでとうございます。

今、就職・進学されるさんは、希望に満ち溢れている事と思います。ただ、現在の経済状態は、ここ数年非常に厳しい状態が続いている。また、今後の技術の進歩は、今まで以上のスピードで進化しています。今までの会社の人材育成は、時間とお金を掛ける余裕が有りましたが、こういう時代には、会社にそのような余裕は、ありません。自らが、常に新しい技術を学び続ける人が、一流のエンジニアにれます。生涯学習を基本に自己研鑽してください。

また、熊本キャンパスは、古くからの伝統ある高専で、諸先輩の方達が、素晴らしい業績を築いて来られました。今後も、卒業される皆様が活躍され、熊本高専の名を高められる事を、期待しています。

## ● 卒業生・修了生に贈る

楷友会（八代C同窓会）会長  
亀田 英雄



熊本高専をこの度卒業・修了される諸君に心からお祝いを申し上げます。これを機会として次の段階へと進まれていくなかで、今の気持ちの高まりをいつまでも憶えておいて下さい。

現代社会において将来の展望は明るいものとして観測されていませんが、いつの時代も保証されているという事はあり得なく、また、与えられるものではありません。

人生はいつの時代も自分のおかれた環境の中で精一杯の努力を行い、これまで培ったものを最大発揮し、自立の志を持って切り開いていくものだと思います。

その為には、学校で学んだ物事の真理を追求する技術者としての視点と、今の気持ちの高まりはとても大事なものであり、何物にも代えがたいものです。

このキャンパスで学んだ誇りを胸に社会に羽ばたいて下さい。期待しています。

# 02 進路速報 2010年度(熊本キャンパス)

## 本年度の進路状況について

熊本キャンパス進路対策会議(学生主事補) 大石 信弘

本科卒業生のみなさん、専攻科修了生のみなさん、ご卒業・修了おめでとうございます。

さて、今年度の進路状況を振り返って見ますと、やはり50年に一度の大不況だったのでしょうか、景気回復の糸口が見出せないまま、就職も進学もその影響を大きく受けてしまいました。

まず、就職ですが、厚労省発表の就職内定率によりますと、12月1日現在で、大学は全国平均68.8%（前年同期比4.3ポイント減）、高専は全国平均94.7%（同2.2減）で、昨年度をも下回る過去最低の統計となり、報道機関が名づけたように「超就職氷河期」でした。本キャンパスの就職状況も、この統計とほとんど変わらず、就職希望者のうち内定率は97.7%でした。この厳しい雇用情勢にあって、このような内定率を維持できているのは、学科長をはじめ関係各位のご尽力の賜物です。そして何より卒業生・修了生が頑張った成果であり、誇らしい限りです。

次に進学ですが、一般論として、不況で就職が厳しくなると進学率が上がる傾向にありますが、今年度の熊本キャンパスの場合は例外のようで、例年だと55%程度の進学率が42.9%と低い数字にとどまっています。本キャンパスの就職内定率の高さを活かして、本科卒で就職する学生が多くいたためのようです。各大学の編入倍率は例年よりも高くなつたため、これは本キャンパス独特の傾向のようです。そのほかの特徴として、本校専攻科の人気が相変わらず衰えていないことが挙げられます。ここ数年、本校専攻科から九大大学院への進学者が増加しているためのようです。また、旧帝国大学である東北大、九大や東工大などの難関大にも編入を果たした学生が続いています。在学生にはぜひともチャレンジして欲しいと思います。

最後に、昨年度と同じ言葉を卒業生修了生に贈りたいと思います。卒業はゴールではなく、これからがスタートです。今後10年をめどにキャリアアップできるよう意志を高く保ち続けてください。

### ■平成22年度専攻科修了生就職先一覧

No	就職先	地域		人数
1	ニコン	東京	関東	1
2	旭化成	東京	関東	1
3	日立情報システムズ	東京	関東	1
4	旭化成ケミカルズ	東京	関東	1
5	本田技研工業	東京	関東	1
6	アイシン精機	愛知	東海	1
7	アイシン・コムクルーズ	愛知	東海	1
8	NTTネオメイト	大阪	関西	1
9	サントリーホールディングス	大阪	関西	1
10	大和製罐	福岡	九州	1
11	TOTO	福岡	九州	1
12	パナソニックSNソフトウェア	福岡	九州	1
13	国家公務員(法務省)	東京	関東	1
14	熊本高専	熊本	九州	1
合 計				14 (内女子1名)

### ■平成22年度専攻科修了生進学先一覧

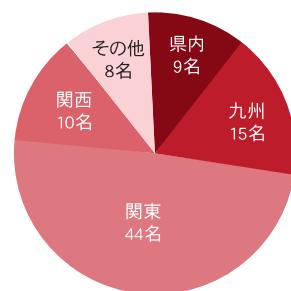
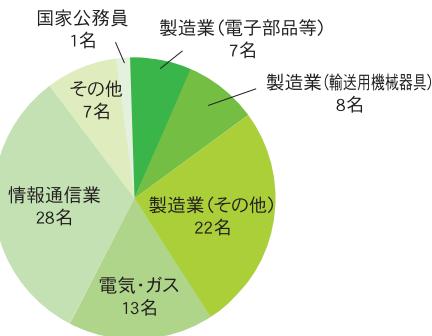
No	就職先	地域		人数
1	東京工業大学	東京	関東	1
2	奈良先端科学技術大学院大学	奈良	関西	3
3	広島大学大学院	広島	中国	1
4	九州大学大学院	福岡	九州	11
5	九州工業大学大学院	福岡	九州	1
6	宮崎大学大学院	宮崎	九州	1
合 計				18 (内女子1名)

### ■平成22年度本科卒業生進学先一覧

大学等	学科名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
豊橋技術科学大学		2		3	5	
長岡技術科学大学		1	2			3
東北大学	1	1				2
茨城大学	1					1
東京工業大学				1	1	
福井大学				1		1
広島大学		1				1
山口大学		1				1
九州大学	1					1
九州工業大学				1	1	2
佐賀大学				1		1
大分大学					1	1
熊本大学			2			2
宮崎大学			1	1		2
鹿児島大学			1	1		2
琉球大学	1					1
熊本高専専攻科	11 7 8 6					32
首都大学東京	1					1
広島市立大学		1				1
同志社大学	1					1
その他(各種専門学校等)					1	1
合 計	17 14 17 15					63

## ■平成22年度本科卒業生就職先一覧

企業等 学科名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計	企業等 学科名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
CRCシステムズ	1	1			2	東海旅客鉄道				1	1
KDDIテクニカルエンジニアリングサービス	1				1	東京エレクトロンFE				1	1
Mテック		1			1	東京電力				1	1
NTTコミュニケーション	1				1	東芝ITサービス				1	1
NTTネオメイト九州				1	1	東芝エレベータ				1	1
QTネット	1				1	東芝プラントシステム				1	1
RKKコンピューターサービス	1				1	トヨタテクニカルディベロップメント	1				1
TDCソフトウェアエンジニアリング				1	1	トヨタ自動車九州	1				1
旭化成		1			1	東レ				1	1
旭化成ケミカルズ			1		1	南星電機				1	1
旭国際テクネイオン			1		1	ニコン	1				1
アドソル日進				1	1	西日本高速道路エンジニアリング九州				1	1
エイアンドティー	1				1	西日本高速道路ファシリティーズ				1	1
エステンナイン京都				1	1	西日本旅客鉄道				1	1
エヌアイシー・ネットシステム		1			1	日本貨物鉄道				1	1
大阪シーリング印刷		1			1	日本ソフトウェア技研				1	1
オムロン阿蘇			1		1	日本ビジネスエンジニアリング				1	1
オムロンリーフィードバイス		1			1	日立国際電気	1				1
関西電力	1		1		2	日立メディコ				1	1
キャノン		1	1		2	阪神エレクトリック				1	1
キャノンマーケティングジャパン			1		1	富士ゼロックス	1				1
九州電力	1		1		2	富士通	2				2
九州旅客鉄道			1		1	富士通九州システムズ				1	1
京セラ			1		1	富士通マーケティング				1	1
京セラコミュニケーションシステム				1	1	不二ライトメタル	1				1
ケーネス九州支店		1			1	堀場エステック	1	1			2
コニカミノルタビジネスソリューションズ				2	2	本田技研工業				1	1
サントリーブロタツ			1		1	ホンダソルテック				1	1
サントリーホールディングス		1			1	前川製作所				1	1
シャープビジネスコンピューターソフトウェア	1				1	三菱重工業 長崎造船所				1	2
セイコーエプソン	1				1	三菱電機エンジニアリング				1	1
正興電機			1		1	三菱電機プラントエンジニアリング	1	1			2
ソフト九州				1	1	ムラテック販売	1				1
ダイキン工業	1				1	ヤマハ発動機				1	1
中央電子工業			1		1	菱栄テクニカ				1	1
中外製薬工業	1				1	リンクテクノロジー				1	1
中部電力	2	1			3	熊本県警察				1	1
テクノ空調		1			1	合 計	25	26	16	19	86



# 進路速報 2010年度 (八代キャンパス)

## 挑戦:キャリア・アップのために

八代キャンパス 進路支援室 小林 幸人

卒業生、修了生のみなさん、卒業・修了おめでとうございます。高専の生活から、就職・進学と新たな生活に向けて羽ばたくみなさんとそれを支えた保護者のみなさんに、心からお祝い申し上げます。

さて、報道等でご存じのように、今年度、大学生を中心に、新卒者の就職状況はかつてないほど厳しいものでした。その中にあって、高専の学生に対する社会の期待は高く、本校学生に対する求人も、総数こそ減少しているものの、依然高い数値を示し、それぞれの進路を決定しています。この期待は、これまでの先輩方が残してくれた遺産です。卒業生・修了生のみなさんにも、先輩方に負けない活躍を期待します。

ただし、高専というブランドだけで評価される時代ではありません。本年度の就職活動では、採用期間の早期化・短期化、選考の厳格化傾向が、例年以上にみられました。企業が人を雇用するには莫大なコストがかかります。ブランドへの信頼だけでなく、一緒に働くことのできる人物を厳しく見極めようとする企業の姿勢が強くなっています。グローバル化が加速する現在、国際的な競争力の維持・向上のために、即戦力とともに将来の成長が期待できる応用力・適応力を備えた人材が求められているのです。

製造拠点の海外移転が進む中、わが国が技術立国としての競争力を維持するためにも、就職、進学それぞれの道を歩み始めるみなさんの今後の成長が鍵になります。多くのことに挑戦し、自分の可能性を広げていってください。

みなさんの進路は、経験の積み重ねが切り開いたものであり、これから経験はさらに将来の生き方を作り上げます。高専で培ったキャリアを基盤に、新たな舞台で活躍し、それぞれのキャリア・アップを目指し、日々研鑽を積んでください。在校生のみなさんも、先輩方の頑張りを忘れず、学業、課外活動など、学生生活が充実したものとなるよう、日々の精進に努めることが大切だと肝に銘じてください。

卒業生・修了生のみなさんの今後のご活躍を心よりお祈りいたします。

## ◆平成22年度 専攻科修了生 就職先一覧

	生産情報工学専攻 (M系)	生産情報工学専攻 (E系)	環境建設工学専攻	生物工学科専攻
旭化成(株)		1		
(株)アマダ	1			
(株)INAX			1	
小野田ケミコ(株)			1	
(株)カネカ				1
肌美和(株)	1			
サントリーホールディングス(株)		1		
シャープ(株)		1		
中外製薬工業(株)			1	
DIC(株)				1
東燃ゼネラル石油(株)	1			
(株)東洋新薬			1	
(株)酉島製作所	1			
(株)西日本高速道路エンジニアリング九州			1	
西日本プラント工業(株)				1
日本原子力発電(株)	1			
富士通(株)		1		
(株)富士通九州システムズ		1		
(株)三井三池製作所	1			
屋久島電工(株)	1			
りんかい日産建設(株)			1	
計	7	5	5	4

## ◆平成22年度 専攻科修了生 進学先一覧

	生産情報工学専攻 (M系)	生産情報工学専攻 (E系)	環境建設工学専攻	生物工学科専攻
九州大学大学院	1			
熊本大学大学院		1		1
北陸先端科学技術大学院大学				2
その他(各種学校進学等)	1			
計	2	1	0	3

### ◆ 平成 22 年度 本科卒業生 就職先一覧

	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	生物工学科
旭化成(株)				1
アステラスファーマケミカルズ(株)				2
阿蘇製薬(株)				2
イクストライド(株)	1			
出光興産(株)				1
(株)エイアンドティー				1
(株)エヌ・エス・シー・エンジニアリング		1		
F S テクノサービス(株)	1			
大阪ガス(株)			1	
オムロンフィールドエンジニアリング九州(株)	1			
オリンパス(株)		1		
花王(株)				1
関西電力(株)		1		
肌美和(株)				1
キヤノン(株)	1			
九州電力(株)		1		
九州旅客鉄道(株)			1	
京セラ(株) 鹿児島川内工場		2	2	1
(株)熊本日日新聞社	1			
(株)興人				1
コーパス食品(株)	1			
(株)こざき			1	
サントリーホールディングス(株)				1
(株)塩見設計			1	
(株)資生堂				1
シチズン時計鹿児島(株)	1			
(株)シマツテック	1			
(株)末松電子製作所	1			
セイコーエプソン(株)	1			
総合警備保障(株)		1		
第一三共プロファーマ(株)				2
大日精化工業(株)				1
田中貴金属工業(株)				1
チッソ(株) 水俣本部	1	1		1
中部電力(株)			1	
ツカサ電工(株)	1			
DIC(株)				1
東海旅客鉄道(株)	1		1	
(株)東洋新薬	1			1
(株)富坂建設			2	
(株)トヨタプロダクションエンジニアリング		1		
西日本プラント工業(株)	1			
西日本旅客鉄道(株)		1		
日鉄パイプライン(株)			1	
日本自動ドア(株)	1			
日本たばこ産業(株) 九州工場		1		
日本ミルクコミュニティ(株)				1
日本メックス(株)			1	
林建設(株)				1
(株)日立建設設計			1	

	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	生物工学科
日立フィールドアンドファシリティサービス(株)		1		
不二製油(株)				1
富士通(株)			1	
フジテック(株)				1
富士電機システムズ(株)	1			
富士古河E & C(株)				1
本田技研工業(株)	1			
(株)松下組				1
三井造船鉄構工事(株)				1
三菱ガス化学(株)				1
三菱地所藤和コミュニティ(株)				1
三菱重工業(株) 長崎研究所	1			
三菱重工業(株) 長崎造船所	1			
三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所	1			
三菱電機(株) 長崎製作所	1			
三菱電機ビルテクノサービス(株)		1		
宮原建設(株)				1
(株)メタウォーター	1	2		
安川エンジニアリング(株)	1	1		
ヤマハ熊本プロダクツ(株)	1			
(株)吉野工業所	1	1		
ライオン(株)				1
リコータクノシステムズ(株)	1	1		
りんかい日産建設(株)			2	
宇城市役所				1
国家公務員(三種)				1
計	23	23	25	23

### ◆ 平成 22 年度 本科卒業生 進学先一覧

	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	生物工学科
熊本高専 専攻科	13	12	11	9
福井高専 専攻科		1		
熊本大学		1		2
鹿児島大学				1
電気通信大学		1		
豊橋技術科学大学				4
その他(各種学校進学等)	4	1	2	2
計	17	16	18	13

## 退職に当たって思うこと

生物化学システム工学科 井上 熊

私はこの3月で退職となります。旧八代高専創設3年目に勤務してから、長いようで短い35年であり、その間いろいろな出来事が思い出されます。特に、旧八代高専の創設時近くの学校行事や部活動がより記憶に残っています。入学式、クラスマッチ、騎馬戦や棒倒しもあった運動会、高専祭、研修会等が懐かしく楽しく思い出されます。その中で、全校で龍峯山登山の学校行事が印象的です。当高専から歩いて頂上に達し昼食をとり、また、高専まで帰る往復約30Kmの距離です。朝9時から3時頃までかかり、そのキツイことキツイこと。大変でした。その点、若い学生はドンドン行っており、教員が追いつけないことへの優越感に浸れたことと思います。

学生への研究はエネルギー変換で一貫してきました。水力発電設備や太陽電池の応用、燃料電池の応用などです。特に、ソーラーバイクの設計製作では、週刊誌「フォーカス」に載ったおかげで、NHK, RKK, TKU, KKT等から取材を受けた事、良い思い出です。

部活動のほうも野球部、バレーボール部の顧問として学生から心温まる楽しい思い出を頂きました。特に、野球部の思い出は、遙か30年前の野球部創設2年目のことです。野球場も整備された春の高等学校野球選手権熊本県大会でした。監督としてそこそこ鍛えておりましたが、学生の意気込みが凄かったのでしょう、あれよあれよという間に3つも勝ってしまい、ベスト8に輝きました。大いに八代高専の名を高めた時でした。

最後に、情報電子工学科の全ての卒業生、在校生と関わられたこと、また、数々の思い出が得られたこと、それは本校に勤められたおかげだと思っております。卒業生、在校生、教職員に深く感謝申し上げます。



## やっと退職

機械知能システム工学科 橋本 俊裕

三十六年前生まれて初めて八代の地に降り立った。当時、八代駅の後ろには今と同様巨大な製紙工場が聳え立っており、前一現在旅館が建っているところには木造の建物があつてその中には五、六人も入れば満員になりそうな一杯飲み屋が十軒程も立ち並んでいた。どちらかと言えば物侘しい風景であった。正直なところ、これが熊本第二の都市の表玄関か、と失望に似た感情を覚えたことを思い出す。



その時以来今日まで八代高専・熊本高専の一員として学生諸君のお相手をして、そして今日の定年を迎えた。よくも勤まつたものだと思う。

その間には、喜ばしいことや悲しいことなどが沢山あった。その中でも、勤め始めて一年目、当時副担任をしていたクラスの一名が悲運の死を迎えたことは忘れられない思い出である。その学生の母上様の悲痛なお顔は強烈に記憶に残っている。

嬉しいことは、挙げればいろいろあるが一番はやはり卒業式での笑顔を見ることができたことであろう。

思えばこの三十六年は何がなんだか分からぬままじたばたじたばた過ごしてきたような気がする。が、それでもお相手をしてくれた学生諸君が皆心優しかったおかげで幸せであったと思う。かつて在籍していた方々を含め学生諸君に感謝を申し上げる。

最後になったが、日ごろ良くして下さった総ての同僚教職員の皆様に感謝する。そして、勝手気ままに生きてきた私に分け隔てなく親切にして下さった情報電子工学科の同僚の方々にお詫び申し上げると同時に感謝を申し上げる。

## 36年間ずっと・・

建築社会デザイン工学科 内山 義博

—高専で教え始めて何年?—  
2期生の入学と同時に、昭和50年からです。36年経ちました。過ぎてみれば早いですね。もう教え子の子どもたちが、何人も入ってきてていますよ。



—最初の本校の印象は?—

来た時は、一般棟と図書館だけでした。敷地が広いなあという印象だったけど、グランドはガレキの山でしたね。測量の実習が大変で、みんな長グツはいてやってました。どんどん校舎も建って、環境は変わるし・・何度も杭打ちをやり直しましたね。

—36年間で印象に残ったことは?—

卓球部のクラブ顧問を、新任時からずっとやっていて、ずっと勝てなかった。8期生ぐらいの時から結構強くなって、それでも万年2位。もうだめかと思っていた平成11年、苦節20年で初めて高専大会で優勝できた。OBたちが喜んでくれて、祝勝会も開いてくれた。応援旗もみんなで作ってくれました。感無量でしたね。

—授業とかでは?—

構造力学を教えて30年以上になります。土木建築の3年生、4年生はおなじみでしょう。昔は、ひねった問題を出してもスッと解くのがいて、結構、うれしかった。でも最近は…。あと、実験レポートとかでも、コンクリート試験片の誤差の検討を延々と何ページも書く学生とかがいて・・印象に残っています。

—定年を迎えた今の気持ちは?—

実は、来年からも再雇用で、フルタイムで今年と変わらずに出てきます。授業も、もちろん卒研も受け持ちます。がっかりする学生もいるかもしれないけど、よろしく…というわけで、ぜんぜんピンときていません。

—最後に学生たちにメッセージを—

来年も、2、3、4年生の構造力学は僕が担当します。カクゴしておいて下さい。

(インタビュー: 総務委員会)

## 隨 想

総務課 松本 明峰(課長補佐)

昭和46年の年頭に京大に初出勤してから、早や40年の月日が過ぎた。大学では農学部等で14年間お世話になった。



私にとっては「職業人」としての原点でもあり印象深い。その後Uターンして宮大に5年、熊大に13年勤め、最後は八代で通算8年、いよいよゴールテープを切ることになった。学校も国の時代は、よく「護送船団方式」と言われ、「前例踏襲」が幅を効かせていた。しかし、昨今は個性が重視される時代となった。最後に一言、「前例がないからやってみる。」という気構えで何事にも望んでもらいたい。

初任地「京都」、最終地「八代」、共に気になる存在だ。双方とも日本の大学・高専のリーダーとしての活躍を期待したい。

## 熊本高専万歳!

学務課寮務係 守山 和生(係長)

諺で「朱に交われば赤くなる」と言いますが、私は単純な性格ですので年齢層を超えて寮生へ引きずられ、素直に考えることが出来ました。おかげで寮生とも仲良く気楽に話合え楽しく仕事をすることができました。よい環境は後輩に引き継いでください。また、自分にも言えますが、皆さんは卒業したら自分個人で生活設計をしなければなりません。私は幸い多趣味で、どうにか余生を過ごせそうですが、皆さんには厳しい現実社会が待っています。学校で学んだ自分の能力を信じ、苦境に対応できる人になってください。お世話になった教職員の皆様、保護者の方々、学生の皆さん有難うございました。熊本高専の更なる発展を願ってお別れの挨拶とさせていただきます。



## ● 新学生会長になって

熊本キャンパス学生会長 坂井 潤



私が学生会長となって、早2ヶ月が過ぎました。正直に言うと、それほど実感は沸いていません。2年生の頃から学生会役員として活動してきましたが、気づけば役員の中でも最上級生となりました。下級生のころは人に頼ってばかりで、責任感も決断力も無い、残念な学生だったと思います。この学校が嫌いで、毎日なんとなく過ごしていました。そんな自分を変えたくて学生会の役員となり、色々な人と出会い、様々なことを経験したことで、その頃よりも良い意味で変わることができたと思っています。今では、この学校が大好きです。これまで積んできた経験を活かして、より良い学校づくりのために精一杯活動していく、それが私にできる唯一の熊本高専への恩返しだと思います。

この1年が私にとって、学生全員にとって、そして熊本高専にとって、充実した1年となるように励んでいきたいです。

## ● 新学生会長に選ばれて

八代キャンパス学生会長 栗毛野 大



こんにちは、新学生会長に就任する栗毛野と申します。年明けから少しづつ学生会活動に参加し始めて、自分が次期会長だという自覚が強まってきた。来年度から本格的に活動していくので、しっかりと自分のすべき仕事を把握し、迷惑をかけないようにしたいと思います。

この場をお借りして、会長として抱負を二点、述べさせて頂きます。一つは学生会活動を積極的に行っていくということです。わからないことはたくさんありますが、学生会役員の仲間達と一緒に協力して実施していきたいと思います。もう一つは、学校行事にも力を入れていきたいと思います。特に高専祭については、予算や内容について検討しなければならないことがあります、みんな一丸となって盛り上げられるように努力したいと思います。

今年度の1年生から3学科体制となり、学生の人数は少なくなりましたが、それを感じさせないぐらい元気な学校にできるようにしたいと思います。そして他の高専に負けないぐらい良い学校だと言われるように、学生会が引っ張っていきたいと思います。これから1年間、会長として精一杯頑張っていきますので、どうかよろしくお願ひします。

## ● 今年度の明和寮を振り返って

熊本キャンパス寮生会会长 緒方 優紀



こんにちは。明和寮寮長の緒方優紀です。

今年度は～innovation～「変革」、～improvement～「改善」をテーマに、寮を“I”自分から、“in”内側から変えていこうと活動してきました。

具体的な活動としては、今まで伝統的に続けられていた悪い風習を廃止し、寮生一人一人に「自律」の意識を持ってもらうための寮役員を中心とした呼びかけがあります。また、イベントなどを積極的に行い、寮生同士の縦のつながり、横のつながりを強くしていくようにしました。さらに、上級生は下級生のことを、下級生は上級生のことをよりよく知つてもらえるように毎月寮生新聞を作っています。

今まで伝統となってきた習慣を変えるのは難しいですが、「自分が変われば周りが変わる。周りが変われば環境が変わる。環境が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。」という言葉があるように、習慣を変えるためにまず自分が「自律」の意識を高く持ち、よりよい寮をつくるために努力していきたいと思います。

# 寮生会会長・クラブ活動 学生会・寮生会報告

## ● 寮祭を開催して

八代キャンパス寮生会元会長 福島 崇文



4年に1回。それが八代キャンパスの寮で開催される「寮祭」です。必然的に本科生で2度の寮祭を経験できるのは開催年の1年生と5年生のみとなります。寮祭は5年生が思い出しながら役員一丸となり企画を考え、1年生に次の寮祭を託すという学年を越えたイベントです。今年の寮祭は前回もあったお化け屋敷のような目玉企画、複数の新企画を催しました。残念なことにTOEICや成人式関係の行事と重なってしまって欠席する人もいましたが、大半の寮生が何らかの企画に参加してくれていたのでイベントとしてはうまくいった。と思っています。企画内容には違いがありましたがあまかなかスケジューリングは4年前の寮祭と似通っており、当時の役員が作り上げた寮祭は今もまだ引き継がれていることを思い知らされます。今回の寮祭を1年生が覚えていて4年後もまた寮祭を開催することができるならば、寮祭のために走り回った役員にとっては意味のある努力だったと思います。1年ごとの引継ぎとは違う5年制の高専だからこそ行える特別な寮祭をこれからも引き継いでいってもらいたいと思います。

## ● 全国大会を経験して

ラグビー部主将（熊本C） 鍋島 崇統

卒業するまでに、必ず全国大会に出場してやると決意して早くも5年の月日が経った。一年生のころ、初めての高専大会で3位に終わって本当に悔しかったのを覚えている。敗戦自体の悔しさというより、先輩達の足を引っ張って自分は何も役に立てなかつたという悔しさだった。

それからは毎年九州大会3位止まりで、全国大会には出場できないまま、気が付けば自分が最上級生になっていた。不思議と最後の年といった焦りはなく、春の新人戦では九州優勝を経験し、逆に今年こそいけるという確信をもった。そしてついに九州大会で準優勝し、今年の1月に創立以来となる念願の全国大会出場を果たすことができた。

5年間何を頑張った？と聞かれて胸を張って答えられることはラグビーだけで、それを通して得たものというのを数えきれない。何より、最後の年に最高のチームでプレーできた。個性あふれる部員たちだったが、私にとってはまたとないチームだった。全国出場にあたり部員のみんなや顧問の先生方、協力してくださったOBの方々には心から感謝している。

部活を引退した今、結果として自分の代で全国大会に出られたのは本当に光栄で、誇れることである。しかし、みんなで練習した日常の日々こそが私の中で一番の思い出である。こんな経験をさせてくれたラグビーラグビー部に感謝し、これからはOBとして末長く見守っていきたいと思う。

## ● 駅伝シーズンを終えて

駅伝部（八代C）監督 川尾 勇達

今年度の駅伝チームは、年明けから初夏まで故障者も多く厳しいスタートでした。夏休みからは熊本キャンパスや都城高専と合同で阿蘇合宿等を経て力をつけ、秋には5年生の谷君がベテラン選手と並んで九州一周駅伝熊本代表選手に選抜され3回の出走を果たしています。

更に、3年生以下のチームが11月6日の県下高校駅伝で過去最高の11位(53チーム中)に入り高専駅伝チームの力を県に大きくアピールしてくれました。年末頂上決戦である12月27日の西日本高専駅伝では、悲願の優勝には一息足らず、3位という結果(大会歴代6位の記録)で駅伝シーズンに幕を閉じました。

この躍進は、チームから巣立ち卒業する5年生3人は無くてはならない存在でした。谷君は競技で常に先頭を、平山君は主将として常にリーダーシップを、西村君は練習・生活・態度でチームを、12月の卒研がある中でも時間を作り支え続けて、練習でも試合でも立派に仕事を果たしてくれました。5年間の厳しい駅伝の世界で、このような選手達が良き人材として社会へ巣立っていくよう、今後も尽力していきたいと思います。最後に、関係の皆様方のご協力とご支援そしてご声援、誠にありがとうございました。



## ● 冬季オープンキャンパス

熊本キャンパス学生募集室長 合志 和洋

2010年12月4日（土）に熊本キャンパスで冬季オープンキャンパスを開催し、総勢108名（うち中学生66名）の方々にご来場いただきました。夏季オープンキャンパスが熊本高専について広くPRすることを目的としているのに対し、冬季は熊本キャンパスの情報通信エレクトロニクス工学科、制御情報システム工学科、および人間情報システム工学科の3学科それぞれの特色を知ってもらうことに重点を置きました。そのため、熊本高専の学校説明および体験入学に加え、各学科長や在校生による学科紹介、教員ならびに学生会役員による進学相談を実施しました。特に、進学相談では、受験生が具体的に志望学科を決めたり、効果的な受験対策を講じる上で有益な情報を提供できます。夏季と比べて相談件数は多くなりますので、来年度は進学相談に特化したオープンキャンパスにできないかと考えています。



## ● インターンシップ成果報告会

学生主事補（進路担当）大石 信弘

毎年恒例となったインターンシップ成果報告会（熊本キャンパス）を、12月6日に熊本市のパレアホテルにて開催しました。多くの高専ではインターンシップ発表会を学科単位で行っているようですが、全学科を挙げて発表会を実施するのは全国的にも珍しいようです。この形式で実施するようになってから、早いもので第6回目となりました。

インターンシップへの参加者は、本科4年の希望者と専攻科1年を合わせて合計131名でした。受け入れていただいた企業は県内外の80社にも上ります。

成果報告会の発表は2部構成で、口頭発表を10名、ポスター発表を38名が行いました。口頭発表の後、質疑応答ではご来場くださった企業の方からの質問にてきぱきと答え、有意義な時間となりました。時間とスペースの都合により、インターンシップに参加した全ての学生が発表することは叶いませんでしたが、発表できなかった学生につきましては成果報告書をご覧いただきたいと思います。

最後に、この場をお借りして、基調講演をしていただいた東京エレクトロンFEの石井会長およびインターンシップを快く引き受けくださいり、貴重な時間を割いて学生をご指導いただいた企業の皆様に心よりお礼申し上げます。



## ● 第2回 半導体材料・デバイスフォーラムを開催！

地域イノベーションセンター  
半導体デバイス研究部 大山 英典

半導体デバイス研究部主催の第2回「半導体材料・デバイスフォーラム」が、平成22年12月11日（土）と12日（日）に、アークホテル熊本を会場として、ベルギー・フランダース政府貿易投資局（財）くまもとテクノ産業財団の共催、熊本県他多数の後援によって開催された。フォーラムへの2日間の累計参加者数は、のべ200人であった。

フォーラムでは、世界最大の半導体研究機関であるimec (interuniversity microelectronics center) のCor Claeys教授による“The Future of semiconductor devices (先端半導体デバイスの将来)”のテーマをはじめとして、4件のホットな話題が報告された。その後、「半導体におけるオゾンの利用技術」「半導体材料・デバイス・システム」「若手技術者的人材育成」「半導体材料・デバイスの放射線損傷」の4つのセッションにおいて、産学官の研究者24名から最新の研究成果報告が行われ、活発な質疑応答が交わされた。

併せて、半導体に携わる研究を行っている大学・大学院生、高専専攻科生の学生42名によるポスター発表も同時に実施され、今回から優れたポスター発表には優秀賞と奨励賞を与えることとし、受賞者には賞状と記念品が授与された。

なお、フォーラムの様子と予稿集原稿のファイルは、下記URLに掲載されている。

<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/news/2010/12/2nd-device-forum/>



## ● 科学技術教育支援講演会

PBL・総合教育センター 大河内 康正

PBL・総合教育センターには、地域の子供たちの工作教室や連携理科授業の実施など小中学校への科学技術教育の支援を行う事業部があります。多くの高専でも、それぞれ地域貢献活動として同様の活動を実施しています。特に、九州・沖縄地区高専では「科学技術教育支援ネットワーク」を作り年次会議を開き、それぞれの支援活動の情報を共有して活動しています。これらの活動に関連して、平成22年12月24日「科学技術教育支援講演会」を八代キャンパスで開催しました。教育支援活動でユニークな取り組みをされている企業と大学から二人の講師を招いて、ものづくり企業や国立大学における科学技術教育支援活動を紹介してもらいました。また、高専で科学技術教育支援に携わっている先生方を招いて、平成22年度の各高専独自の実施事例を報告してもらい、今後の科学技術の将来を担う子供たちのための教育支援活動や高専教育への活かし方などを話し合いました。



## ● GPの取組み

建築社会デザイン工学科 下田 貞幸

今年度から3カ年の予定で採択された文部科学省・大学教育推進プログラム(GP)「社会を教室とする新しいエンジニア教育」の取組について報告します。これは社会の具体的課題を学生が自ら探し解決策を導き出すという実践的な教育手法です。今年度は後期の授業で3年生の「日奈久温泉駅前広場計画」、4年生の「代陽小学校改築計画」等のテーマで地域や小学校でのヒアリング等を実施し、計画案を設計・提案しました。また、GPプロジェクトを展開するために教員側に必要なProblem-Based Learning(PBL)への知見を深めるために、11月には富山高専から講師を招いて研修会を実施しました。PBLとは何か?についてワークショップ形式で検討し、評価方法等について質疑が行なわれました。3月14日には今年度の活動のまとめとして報告会およびPBL学習会を、GPでのまちづくりの拠点として開設した駅前プランチ(第一映画)にて実施します。(写真左から、現地見学・リアリング(4年生)、同(3年生)、PBL研修会、駅前プランチ)

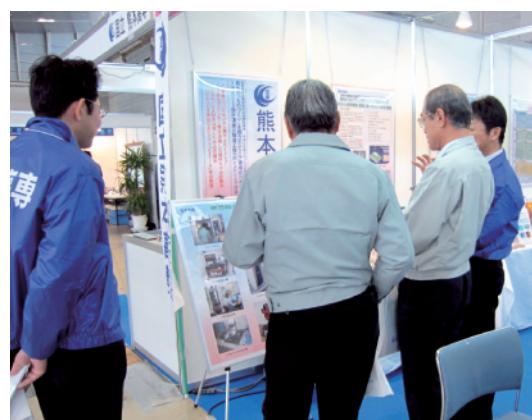


## ● くまもと産業ビジネスフェア出展

地域イノベーションセンター 福田 泉

くまもと産業ビジネスフェアが、2011年2月9日(水)、10日(木)にグランメッセ熊本で開催されました。平成21年度までは、本ビジネスフェアへの出展は各キャンパスからそれぞれ参加していましたが、平成22年度は熊本高専地域イノベーションセンターとして、熊本キャンパスから2ブース(身体不自由者のためのトレーニング装置等)、八代キャンパスから2ブース(建設技術材料試験所と3D-CAD/CAE/CAM人材育成事業)の4ブースと、広いスペースにまとめての出展となりました。

2日間にわたり、多くの一般来客者(遠くは東京、愛知等から、および中には本校OBも)がありました。展示担当者からの説明に興味深く聞いて頂き、かつ多くの質問も頂戴したりして、有意義な出展がありました。



## 私の研究

人間情報システム工学科 村上 純

私は、数値計算という分野の研究に、同学科の山本直樹先生、大隈千春先生と共に取り組んでいます。数値計算はコンピュータに色々な計算をさせるときの計算法を工夫して時間や容量、精度を改良したり、新しい方法を考えたりする分野です。



例えば、クラスの定期試験の成績表は、縦に学生、横に科目を取り点数を書いた行列データです。これから、理系に強いのは誰かなどの特徴成分を見出し、それに関する各学生の得点を求める主成分分析(PCA)という分析がよく知られています。PCAは行列の特異値分解(SVD)という手法で計算しますが、統計ソフトを使用すれば簡単に求められます。

年4回ある試験のデータは、行列を4枚並べたもので、このようなデータを3階テンソルと呼びます。このデータに対して、PCAを拡張したマトリクスPCA(MPCA)という方法が考えられていて、理系に強く後期に成績が向上した人のように、2種類の特徴成分を複合させて分析を行うことができますが、まだほとんど知られていません。計算に使用する高次特異値分解(HOSVD)というSVDを拡張した手法も難解なものです。

私達の研究テーマは、3階テンソルの分解計算に関するもので、HOSVDよりも早く3階テンソル積展開法(3OTPE)という計算法を提案しており、時間は格段に速く、精度も同等以上ですから、国際会議でアピールして(写真は大隈先生)、さらに改良しています。MPCAの応用にも取り組み、種々のデータ(3次元以上も)に適用して学会発表したり、病院と共同研究も行なうなど普及を目指しています。



## 人に優しいリハビリ機器の開発を目指して

制御情報システム工学科 野尻 紘聖

本学科のカリキュラムには、“バイオメカニクス”と“ソフトコンピューティング”的2つのコースが設置されています。“バイオメカニクス”とは、生き物の運動や機構などを工学的に究明すること、また、得られた知見をさまざまな分野の問題解決に適用することが目的の学問です。特に、先進国で問題になっている少子高齢化社会の現状から、人の役に立つ、“人に優しい”ものづくりが求められ、国内外でバイオメカニクスへの関心度は高いです。

一つ目にお紹介するのは、医療福祉分野の方々の一助となればと考え、関節リハビリ訓練装置の開発とその制御方法に関する研究を行ったものです(図1)。しかし、より効果的なリハビリを行うためには人体、特に上肢の内部構造や運動原理を解明する必要が出てきました。

そこで、“平成22年度設備整備マスター プラン”において、「生体運動解析装置」と「生体情報計測装置」を導入して頂きました。前者は、スポーツゲーム開発の現場などでも用いられているモーションキャプチャシステムのことです。後者は、筋電位、脈拍および脳波などの各種センサを用い、ある動作中の人の情報を簡便に計測できる装置です。研究活動では、情報収集と理論を裏付けるためのデータ取得が不可欠であり、これらの装置を大いに活用させて頂きたくと考えています。

二つ目にお紹介するのは、空気圧人工筋を用いたロボットの制御に関する研究です(図2)。従来のロボットは、駆動装置に各種モータを利用しています。一方、人工筋は主な材料がゴムであるため軽くて柔軟という特徴や、人間の筋肉に特性や駆動方式が近いと考えられ、人に安全なロボットの実現に向けた研究が盛んに行われています。卒研室では、人工筋自体の特性を精密に数式で表現し、制御に役立てることを目指しています。

ご興味があれば、デモや装置を見に、是非とも、本学科にお立ち寄りください。

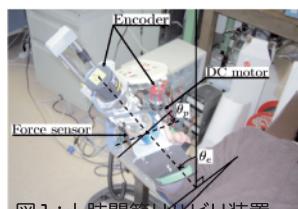


図1：上肢関節リハビリ装置

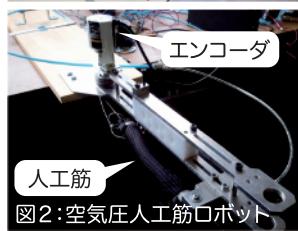


図2：空気圧人工筋ロボット

## 八代海再生に向けて

建築社会デザイン工学科 上久保 祐志

熊本県南部に位置する八代海は、閉鎖的な海域となっているため、水質が悪化し易く赤潮も頻繁に発生しています。一方、海上を漂流するゴミなどの浮遊物も多く見られ、降雨時などには水とともに流木やゴミなどの漂流物が多く八代海に注がれています。

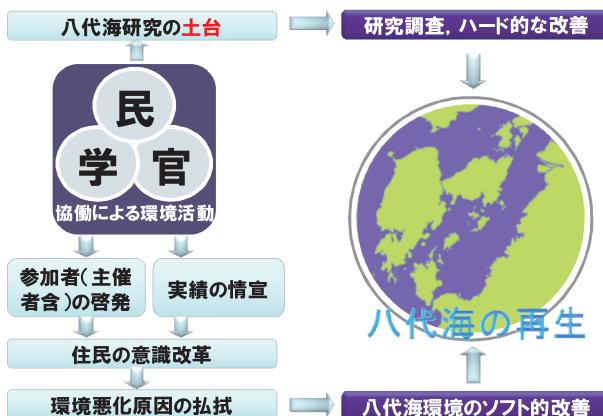
八代海のような閉鎖性海域における環境改善技術としては、①底質改善や流況調査などのハード面による技術と、②環境悪化の原因となりうる人間自身の意識改革を主としたソフト面による啓発技術があります。

①に対しては、八代海における潮流特性を把握するためのGPSを搭載した漂流ブイによる現地観測を行っています。この漂流ブイは、内部にGPSを搭載しており、インターネットを経由してリアルタイムで漂流状況を観察することができます。実際に投入した際、漂流ブイが漂着した場所には、多くの流木やゴミが漂着しており、定性的に流況を把握できています。この研究は、学科を越えて連携し研究していることも大きな特徴です。②に対しては、市民主導型の協働体制「やつしろ里海ネット」を設立して代表を務めており、官学民のニーズや現状を引き出すことによって、八代海に関わる者達が情報を共有し、ソフト的に八代海を再生していく体制を整えつつあります。

ハードとソフト、どちらも調和されてこそ、八代海再生に大きく繋がると考えています。



### 八代海研究の土台



### 研究調査、ハード的な改善



## 超伝導プロジェクト

機械知能システム工学科 毛利 存

超伝導材料とは、一定の温度以下で電気抵抗がゼロになるという特徴を持った材料のことです。普通の金属の電線では、どんなに気をつけて製造しても、抵抗値をゼロにするすることはできません。そのため流すことが出来る電流の大きさには制限があります。また発電所からの送電線に用いたときには、抵抗による電力のムダを無くすることは出来ません。超伝導を使うとこれらの問題が解決できると期待されています。



現在のところ超伝導となる材料はごく限られていて、しかも超伝導とするには、その材料をマイナス200度付近まで冷却する必要があります。そこで、冷却に必要なエネルギーが、普通の電線を用いたときの抵抗による損失よりも小さくなれば、超伝導を電線に使うメリットがあるということになります。ここ十年ほどの研究でこの条件はクリヤされつつあり、超伝導を使った送電の実証実験も始まっています。

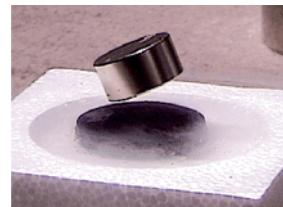
八代キャンパスでは超伝導を研究している研究室は、本研究室と木場研究室の2つがあり、お互いに協力しながら、どうすればより良い超伝導体が出来るかを研究しています。超伝導についてはいまだ謎の部分が多く、どの材料が超伝導となるかは全てが分っているわけではありません。これまでにないような高い温度で超伝導になる材料が見つかれば、世紀の大発見！という可能性も秘めた夢のある研究なのです。



(左上) 材料の試作装置

(右上) 分析装置(専攻科  
共同利用設備)

(右) 超伝導状態を確かめる実験の例



## ● 学生相談室より

熊本キャンパス学生相談室長 光永武志（共通教育科）

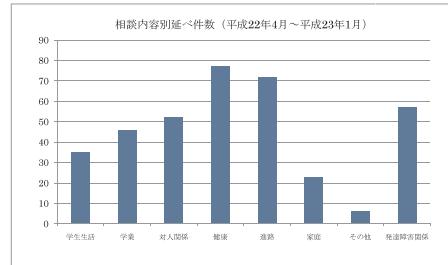
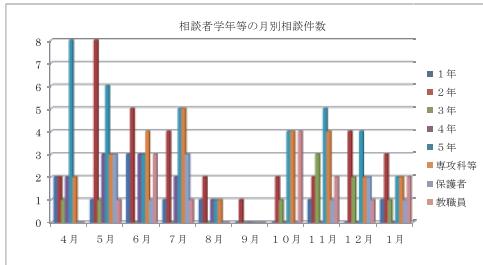


学生相談室を担当しています共通教育科の光永です。個人的な事ですが、昔より「不惑」と言われる年代となったにも拘わらず、「悩みなし」とはなかなかいきません。ああでもない、こうでもないと右に左にふらついています。ましてや青春まったく中の学生諸君は、心配事や悩み事がある方がむしろ普通なのかも知れません。

学生相談室に持ち込まれる話題は、学生生活、学業、対人関係、健康、進路、家庭などとても多岐に亘っています。臨床心理士や精神科医の非常勤カウンセラーの先生方や、本校の教員である相談室のメンバーがそのような相談に応じています。

一度の相談ですっきりする場合もありますが、やはりなかなか気分爽快とはならないうことも多く、継続的なカウンセリングによって、心の中の絡まった糸が少しづつ少しづつほどけていきます。焦りは禁物と言えましょう。具体的には下のグラフをご参照下さい。これは平成22年4月から平成23年1月までの相談件数・相談内容を集計したものです。みんないろいろと悩みがあることが分かるかと思います。

18世紀イギリスにアレグザンダー・ポープという詩人がいましたが、彼の有名な詩句に “To err is Human; to Forgive, Divine.” (過ちは人の常、許すは神の業) というのがあります。人間はみな過ちを犯すものだと、昔の人も言っています。安心して、大いに悩み、そして少しづつでも前に進んで行くことができれば十分ではないか、と「不惑」の時を過ごしながら最近よく感じています。



## ● 保健室から

熊本キャンパス看護師 中西 博子



卒業生の皆さんへ 御卒業おめでとうございます。

「新しい道を歩むものは、新しい道が開ける」と言われています。卒業は、新たな道を歩む第一歩のスタート地点に立ったばかりです。ここ熊本高等専門学校で学んだ知恵と経験を活かして、自分の新たな道を開拓していくことをお祈りしています。今後の皆さんの活躍に期待するとともに、皆さんの新たな旅立ちを心より祝し、健康と活躍をお祈りしています。

環境も変わり、生活も、新たな人との出会いもあり期待に夢が広がっていることだと思います。進学する人、就職して社会人になる人、進路は人それぞれだと思いますが、新しい環境では知らず知らずにストレスが溜まっていくものです。

ストレスを貯めたままだと新たな環境や人間関係に適応できず五月病を引き起こしてしまうことがあります。健康を保ち生活するためには、ストレスをためない生活をすることが重要です。

### <ストレス解消法>

- \* 心身を休める（休息と十分な睡眠をとる。趣味など）
- \* おしゃべりをする（人に相談する）
- \* 体を動かす（その場で出来る簡単なストレッチでもよい）
- \* 旅行やドライブで日常から離れてみる。
- \* 生活リズムを整え食事も3食規則正しく摂るよう心がける。

栄養をとりストレスへの抵抗力をつける。

この他、自分の好きな気分転換方法で気分をリフレッシュしてストレスを解消していきましょう。

心身共に健康で皆さんが生き生きと人生を楽しめますようにお祈りしています。





### 「学生発ベンチャー夢挑戦ビジネス大賞2010 inくまもと」で、優秀賞・奨励賞を受賞しました。

専攻科1年の岩下彩香さん(電子情報システム工学専攻)が、くまもとテクノ産業財団の共催による「学生発ベンチャー夢挑戦ビジネス大賞2010 inくまもと」で優秀賞を受賞しました。授賞式は12月16日、熊本県庁知事室で行われ、知事の前でのプレゼンテーションも行いました。

このコンクールは、熊本県内の大学・高専等に通う学生を対象にした新規性・独創性のあるビジネスプランを競うもので、優秀賞(1件)は、大賞(1件)に次ぐ賞で、今回は岩下さんの他に専攻科1年の山河恭介君(電子情報システム工学専攻)も奨励賞を受賞しました。

岩下さんのプランは、手話をマスターしたい人のために、携帯電話を使って教材を提供するサービスで、いつでもどこでも手話の学習ができるとの他に、講師と受講者が動画を双方にやり取りすることや、本人の習熟度合いを講師からのコメントや達成グラフで確認できることが特徴で、システム構成から事業化計画までしっかりしたプランの作成が高く評価されました。



### 「エネルギー利用」技術作品コンテストで、日本産業技術教育学会奨励賞を受賞しました。

熊本キャンパス陸上部の藤崎大喜君、中村甚仁君、志築宗一郎君、崎山晋君、酒井崇嗣君の製作した作品「短距離走ラップタイム測定器」が、日本産業技術教育学会主催 第13回「エネルギー利用」技術作品コンテストにおいて、日本産業技術教育学会奨励賞を受賞しました。

本作品は、平成19年度(当時は熊本電波高専)1年担任の山崎准教授のH.R.において、低学年より技術者としての責任感および倫理観を育成することを目的に、学外から講師を招いた出前授業や学外への社会見学を実施した後、「自分たちの生活を便利にする機器」をテーマにグループ発表を行った中で、藤崎君が考案したものです。

その後、平成20年度に学生研究奨励金より支援を受け、三好正純教授指導のもと研究し、完成に至りました。



## < Information >

### ■ 授業料免除(平成23年度前期分)申請について

平成23年度前期分「授業料免除」の申請受付を行います。現在の本科3年・4年および熊本高専の専攻科へ進学する5年生並びに専攻科1年生で免除を希望する学生は、3月31日(木)までに必要書類を下記の各キャンパス担当係窓口へ提出して下さい。なお、現在の本科1年・2年生は、高等学校等就学支援金の助成に伴い、取扱いが変更されていますのでご注意下さい。

### ■ 奨学金(日本学生支援機構)申請について

平成23年度「日本学生支援機構奨学金」の申請受付を4月中旬に行う予定です。手続き等の詳細は、同機構から通知があり次第、校内掲示板等によりお知らせしますので、ご留意下さい。

※その他団体からの奨学金募集案内も、校内掲示板等により随時お知らせします。

**【お問合せ先】** ○熊本キャンパス：学生課 学生支援係 TEL (096) 242-6229 FAX (096) 242-5504

○八代キャンパス：学務課 学生係 TEL (0965) 53-1233 FAX (0965) 53-1239

熊本高専  
新年度  
行事予定  
4-8月

## 熊本キャンパス

<b>4月</b>	5日(火) 6日(水) 7日(木) 13日(水) 25日(月)～26日(火) 29日(金)	入学式 始業式・対面式 授業開始 1年生県下一斉テスト 1年生合宿研修 保護者懇談会・学級懇談会 奨学後援会総会・寮生保護者会
-----------	--	---

<b>5月</b>	6日(金)～7日(土) 13日(金) 28日(土)	春季クラスマッチ 専攻科推薦入試 専攻科学力入試
-----------	---------------------------------	--------------------------------

<b>6月</b>	3日(金)～6日(月) 10日(金)～16日(木)	高校総体 前期中間試験
-----------	------------------------------	----------------

<b>7月</b>	8日(金)～10日(日) 15日(金)～17日(日) 20日(水) 25日(月)～29日(金)	九州沖縄地区高専体育大会 " " 編入学試験(本科) 前期定期試験(専攻科)
-----------	--	---

<b>8月</b>	1日(月)～5日(金) 6日(土) 15日(月)～9月30日(金) (8日(月)～9月30日(金) 13日(土)～9月4日(日)	前期定期試験(本科) 夏季オープンキャンパス 夏季休業(本科) 夏季休業(専攻科) 全国高専体育大会
-----------	--	--

## 八代キャンパス

<b>4月</b>	4日(月) 5日(火) 6日(水) 7日(木) 21日(木)～22日(金) 29日(金)	始業式 入学式 対面式・春季文化発表会 授業開始 1年生合宿研修 保護者懇談会・後援会総会 寮生保護者会
-----------	---	--

<b>5月</b>	9日(月)～13日(金) 24日(火) 27日(金)	4年生工場見学旅行 学生総会・球技大会 専攻科推薦選抜試験
-----------	----------------------------------	-------------------------------------

<b>6月</b>	3日(金)～6日(月) 10日(金)～16日(木) 17日(金)	高校総体 前期中間試験 専攻科学力選抜試験
-----------	--	-----------------------------

<b>7月</b>	8日(金)～10日(日) 15日(金)～17日(日) 25日(月) 28日(木)～8月3日(水)	九州沖縄地区高専体育大会 " " 編入学試験(本科) 前期末試験
-----------	---	---

<b>8月</b>	7日(日) 12日(金)～9月25日(日) 13日(土)～9月4日(日)	オープンキャンパス 夏季休業 全国高専体育大会
-----------	--	-------------------------------

## 編集後記

本号の表紙のために、この春卒業の学生たちに集まつてもらいました。急なお願いでしたが、大勢の学生が来てくれて、卒業生らしい、晴れやかでさわやかな笑顔やポーズを掲載できました。この時期に、このような表情を見せてくれたことに、卒業生たちの高専生活での充実ぶり、それから未来への希望を感じることができます。

そのような‘今’への道を支えてくれた多くの方々から、数々の愛情あふれるメッセージを寄せて頂きました。ご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

## 熊本高専だより 第5号

独立行政法人 国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校

(熊本キャンパス) 〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2

TEL 096-242-2121

(八代キャンパス) 〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627

TEL 0965-53-1211

熊本高専ホームページ <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

総務委員会 平成23年3月 発行